

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
1 分類・系統・形態・組織学			
O101	ツヤケシオオゴミムシダマシ <i>Zophobas atratus</i> に見られた性的二型	○松浦 輝尚 ¹ 、宮竹 貴久 ¹	1.岡山大院環境生命
O102	国内の土着きのこ類の菌糸体から確認された幼生生殖タマバエ: 分類学および生態学的特徴	○徳田 誠 ¹ 、古川 晶啓 ¹ 、澤島 拓夫 ² 、尾崎 一天 ² 、イルサイドアイマン ¹ 、湯川 淳 ³	1.佐賀大・農, 2.近畿大・農, 3.九大
O103	マイクロCTを用いたタマバチ科(ハチ目)の生きたゴール内部構造の経時的観察	○井手 竜也 ¹ 、野村 周平 ¹	1.国立科博・動物
O104	幼虫の頭殻の成長調整: Dyarの法則は個体レベルで通用するか?	○星崎 杉彦 ¹	1.東大・農学生命科学
O105	ナナフシ卵寄生性セイボウ類の系統関係(ハチ目セイボウ科)	○三田 敏治 ¹ 、Pham Hong Thai ²	1.九大院・農, 2.MISR, VAST
2 発生学・遺伝学・進化学			
O106	膜翅目昆虫で進化した性決定初期シグナルの複数化における feminizer 遺伝子の役割	○宮川(岡本) 美里 ¹ 、宮川 一志 ¹	1.宇都宮大学・バイオ
O107	中国産アズキゾウムシの超広食性と1次寄主 <i>Vigna</i> 属への戻り効果	○嶋田 正和 ¹ 、長瀬 泰子 ¹ 、大林 夏湖 ² 、徳永 幸彦 ³	1.東大総合文化・広域, 2.中部大, 3.筑波大
O108	共生細菌を保持するアブラムシの宿主細胞における高度な倍数化	○野崎 友成 ¹ 、重信 秀治 ¹	1.基礎生物学研究所
O109	イチジクカサシ (<i>Trilocha varians</i>) のゲノム解析	○李 允求 ¹ 、嶋田 透 ¹	1.学習院大・理
O110	尻振りダンスの進化脳科学的解析 ~クロマルハナバチの前大脳後方背側領域における抗GABA免疫陽性細胞の空間分布	○藤本 亮汰 ¹ 、光畑 雅宏 ² 、藍 浩之 ¹	1.福岡大学 理 地球圏科学, 2.アリストライフサイエンス(株)
O111	ハマダラカ <i>Anopheles stephensi</i> における doublesex 遺伝子雄型産物のノックアウト解析	○山本 大介 ¹ 、水島 大貴 ¹ 、加藤 大智 ¹	1.自治医大・医動物学部門
3 生態学			
O112	ネギハモグリバエ系統識別用核DNAマーカーの開発ならびに系統間競争の調査	○浦入 千宗 ¹ 、藤戸 聡史 ¹	1.農研機構野花草
O113	エサキクチキゴキブリ <i>Salganea esakii</i> の野外における繁殖様式	○伊藤 広記 ¹ 、大澤 直哉 ¹	1.京大・農・森林生態
O114	無農薬りんご園の害虫管理(18) 9年間有機認証を取得したりんご園に於ける、アナグマ、ツキノワグマ、テンなどの加害と、ハシブト、ハシボンガラスの可能性	○城田 安幸 ¹ 、佐藤 悠平 ¹ 、城田 創 ¹	1.医果同源性りんご機能研究所
O115	生息環境の異なる近縁な2種のヒョウタンゾウムシの比較生態学	○政池 一輝 ¹ 、大井田 寛 ² 、井上 真紀 ¹	1.農工大院・農, 2.法政大・生命
O116	ハダニはギルド内捕食者であるチョウ目幼虫の歩行跡を避ける	○金藤 菜 ¹ 、秋野 順治 ² 、矢野 修一 ³	1.京大農・生態情報, 2.京工織大・応生, 3.京大院農・生態情報
O117	タカラダニはアリの道しるべフェロモンを嫌う — ことはこれタカラダニの忌避剤になるんじゃないか? —	鳥海 岳志 ² 、○矢野 修一 ¹ 、秋野 順治 ²	1.京大院農・生態情報, 2.京工織大院・応生
O118	密度上昇に伴うマイマイガの生態的変化	○高島 綾香 ¹ 、山下 恵 ¹ 、澤島 拓夫 ² 、Martemyanov Vyacheslav ³ 、井上 真紀 ¹	1.農工大院・農, 2.近畿大・農, 3.ロシア科学アカデミー
O119	ネギネクロバネキノコバエとチバクロバネキノコバエの共食いとギルド内捕食	○石原 由紀 ¹ 、田上 陽介 ¹	1.静岡大学農学部
O120	追いつかれていないのか、新たな防御機構を身につけたのか? : ムラサキシジミの分布拡大域における天敵解放の要因	○中林 ゆい ¹ 、大島 一正 ^{1,2}	1.京都府大院・生命環境, 2.新自然史センター
O121	シズオカコヒゲクロバネキノコバエの野外での大量発生—多治見市での研究事例—	○田上 陽介 ¹ 、石原 由紀 ¹ 、大畑 裕太 ² 、下田 周平 ¹ 、末吉 昌宏 ³	1.静岡大学農学部, 2.岐阜大学連合大学院, 3.森林総合研究所
O122	チャコウラナメグジの集合性とその機能	大和田 光一 ¹ 、○宇高 寛子 ¹	1.京都大学大学院理学研究科

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
5 共生微生物			
O123	ボルバキアの有無によるヒメビウンカ体内のイネ縞葉枯ウイルス感染量の比較	○大鷲 友多 ¹ 、杉本 貴史 ¹ 、陰山 大輔 ¹ 、古橋 紗瑛 ¹ 、渡部 賢司 ¹	1.農研機構・生物研
O124	比較ゲノムによる、ミツバチに固有な2種の <i>Frischella</i> 属腸内細菌の生態学的機能の解析	○末次 翔太 ¹ 、Wolter Laura ³ 、宮崎 亮 ^{1,2,3}	1.産総研・生物プロセス、2.産総研・CBBDOIL、3.筑波大学・生命環境
O125	チャハマキのオスを殺す共生細菌 <i>Wolbachia</i> から検出されたファージWOの機能解析	○新井 大 ^{1,2} 、安佛 尚志 ^{3,4,5} 、Lin Shiou-Ruei ⁶ 、春本 敏之 ⁷ 、井上 真紀 ² 、陰山 大輔 ¹	1.農研機構・生物研、2.農工大・農、3.産総研・早大OIL、4.産総研・生物プロセス、5.早大・ナノライフ創研、6.台湾茶業改良所、7.京
O126	オスのエンドウヒゲナガアブラムシの共生器官における遺伝子発現と細菌ブフネラの動態の解析	○松田 直樹 ¹ 、重信 秀治 ¹	1.基礎生物学研究所
O127	共生微生物 <i>Wolbachia</i> のチャハマキ雌雄で異なる感染パターン	○小西 楓 ¹ 、新井 大 ² 、伊藤 克彦 ¹ 、井上 真紀 ¹	1.農工大・農、2.農研機構
O128	宿主昆虫の累代飼育過程で確認されたボルバキア <i>cif</i> 遺伝子の欠失	○吉田 一貴 ^{1,2} 、真田 幸代 ³ 、徳田 誠 ^{1,2}	1.鹿児島大院・連合農学、2.佐賀大・農、3.農研機構
O129	オス殺しボルバキアにより変動する宿主遺伝子の解析からわかってきたこと	○杉本 貴史 ¹ 、エラン ベンジャミン ¹ 、渡邊 和代 ¹ 、土田 努 ² 、松尾 隆嗣 ³ 、石川 幸男 ⁴ 、粥川 琢巳 ¹ 、陰山 大輔 ¹	1.農研機構・生物機能、2.富山大学・理工、3.東京大学・農、4.摂南大学・農
O130	たった一つの変異で相利共生は進化しうる	○古賀 隆一 ¹	1.産業技術総合研究所
O131	ハスモンヨトウにおけるウイルス性オス殺しの発現時期に関する知見	○長峯 啓佑 ¹ 、菅野 善明 ² 、寺尾 美里 ³ 、新谷 喜紀 ² 、陰山 大輔 ¹	1.農研機構・生物研、2.南九州大・環境園芸、3.南九州大・フィールドセンター
6 寄生・捕食			
O132	クワコとカイコの幼虫に内部寄生する新種サムライコマユバチの発見	徳平 拓朗 ¹ 、小野 祥児 ² 、清水 壮 ¹ 、横山 岳 ² 、○前藤 薫 ¹	1.神戸大学・農学研究科、2.東京農工大学・農学府
O133	カメムシ類卵寄生蜂 <i>Trissolcus</i> 属の卵色彩変化による同定法の確立	○住田 歩夢 ¹ 、竹松 葉子 ¹	1.山口大学大学院 創成科学研究科 農学系学域
O134	寄主アワヨトウ幼虫の免疫を抑制するカリヤコマユバチ1齢幼虫のextraembryonic membraneについて	○奥村 雄暉 ¹ 、澤 友美 ² 、田中 利治、中松 豊 ²	1.鳥羽市立加茂小、2.皇學館大・教育
O135	スワルスキーカブリダニとミヤコカブリダニの孵化に及ぼす温度と湿度の影響	○山口 晃一 ¹ 、森 光太郎 ¹	1.石原産業株式会社
7 行動生態学・行動生理学			
O136	トゲナナフシの日周活動における成長と日長の影響	○勝部 菜摘 ¹ 、畠山 吉則 ¹ 、岩野 秀俊 ¹ 、西村 知良 ¹	1.日本大学・生物資源科学部
O137	外来ツヤハダゴマダラカミキリと在来ゴマダラカミキリの間での配偶行動	○砂村 栄力 ¹ 、田村 繁明 ¹ 、向井 裕美 ¹ 、所 雅彦 ¹ 、加賀谷 悦子 ¹	1.森林総研
O138	サーモグラフィーによる虫の行動観察	○富田 尚道 ¹	1.伊勢崎市立第三中学校(2021退職)
O139	ミヤコカブリダニの托卵に対するキイカブリダニの産卵選好性の変化	○長 泰行 ¹	1.千葉大学・園芸学研究院
O140	ある種のチョウの幼虫に見られる頭部突起の適応的意義 1 ~フタオチョウ幼虫の硬い頭部突起の役目に関する「天敵からの防衛」仮説の検証~	○香取 郁夫 ¹ 、芳谷 昂紀 ¹ 、大橋 優樹 ¹ 、中根 哲哉 ¹ 、土原 和子 ² 、坂本 貴海 ¹	1.近畿大学・農学部、2.東北学院大学・教養学部
O141	ある種のチョウの幼虫に見られる頭部突起の適応的意義 2 ~アサギマダラ幼虫の持つ柔らかい頭部突起の役目に関する「食草探索」仮説の検証~	○坂本 貴海 ¹ 、芳谷 昂紀 ¹ 、大橋 優樹 ¹ 、中根 哲也 ¹ 、土原 和子 ² 、香取 郁夫 ¹	1.近畿大学大学農学部、2.東北学院大学教養学部
O142	コナガ幼虫とスペシャリスト寄生蜂の攻防	○伊藤 和也 ¹ 、矢野 修一 ¹	1.京大院・農・生態情報
O143	ミツバチとマルハナバチに対するハチノスツヅリガの寄主選好性の比較	○牧野 夏椰 ¹ 、宮崎 翔 ¹ 、井上 真紀 ¹	1.農工大・農
O144	温度依存性の走光性:ツチイナゴの越冬行動	○田中 誠二 ¹	1.つくば市松代
O145	アリ類における聴覚器官の解剖学的研究	○村上 貴弘 ¹ 、堂前 愛 ² 、西野 浩史 ²	1.九州大学決断科学センター、2.北海道大学電子科学研究所

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
7 行動生態学・行動生理学			
O146	Anthrenus 属の2種のカツオブシムシの概年リズムを同時に観察できる条件の探索	○宮崎 洋祐 ¹ 、渡 康彦 ²	1.声屋大学・経営教育学部, 2.声屋大学・臨床教育学部
O147	長距離移動性ヤガ類の分散前の飛び立ち	○中野 亮 ¹	1.農研機構・植物防疫研究部門
O148	ミナミキイロアザミウマにおける食害数の変化に対するタバコカスミカメの反応	○山口 慧 ¹ 、杉村 侑亮 ¹ 、平田 まさみ ¹ 、米谷 衣代 ¹	1.近畿大学
O149	クロマルハナバチにおけるボール転がし学習の検証	○神川 智 ¹ 、前田 龍希 ¹ 、香取 郁夫 ¹	1.近大農
O150	青色光の混合は紫外光のアオクサカメムシに対する誘引性を増強する	○遠藤 信幸 ¹ 、竹内 博昭 ² 、渋谷 和樹 ¹ 、弘中 満太郎 ³	1.農研機構植防研, 2.農研機構中日本農研, 3.石川県立大
8 社会性昆虫			
O201	生みの親より育ての親:クロヤマアリの巣仲間認識能形成	○川本 晴俊 ¹ 、秋野 順治 ¹	1.京工繊大院・応生
O202	外来アリのタンパク水溶液濃度嗜好性	○東濃 青児 ¹ 、Win Aye Thanda ² 、辻 和希 ^{2,1}	1.鹿児島大学連合農学研究科, 2.琉球大学農学部
O203	ミツバチヘギイタダニの保有する蜂病ウイルスの疫学的調査	○荻原 麻理 ¹ 、Behri Meryerm ^{1,2} 、芳山 三喜雄 ¹	1.農研機構畜産研究部門, 2.筑波大学大学院 生命環境科学研究科
O204	セイヨウミツバチの燃料蜜供給係の日齢	○原野 健一 ¹	1.玉川大学ミツバチ科学研究センター
O205	アシナガバチ類における脳内のドーパミン関連物質のカーブト差	○佐々木 謙 ¹ 、西村 正和 ¹ 、吉村 英翔 ²	1.玉川大学・農学部, 2.農研機構・東北農研
9 生活史・分布			
O206	イネカメムシの発育に対する温度の影響	○八塚 拓 ¹ 、平江 雅宏 ² 、菌部 彰 ¹ 、小林 則夫 ¹	1.茨城県農業総合センター農業研究所, 2.農研機構植物防疫研究部門
O207	アメリカシロヒトリ福井市個体群の休眠誘導の光周反応の経時変化	○五味 正志 ¹ 、船越 健斗 ¹ 、小椋 貴弘 ¹ 、黒川 聖人 ¹	1.県立広島大学・生命環境学部
O208	モモンクイガの生活史において年間世代数の増加は適応的か	○石栗 陽一 ¹ 、大畑 勇統 ² 、吉永 直子 ²	1.青森産技りんご研, 2.京大院農
O209	南太平洋原産のウンカ類の一種 <i>Stenocranus pacificus</i> のアジア温帯地域からの初記録	○矢代 敏久 ¹ 、真田 幸代 ¹	1.農研機構・植防研
O210	茶園におけるチャドクガ <i>Euproctis pseudoconspersa</i> の産卵位置	○小俣 良介 ¹	1.埼玉県茶業研究所
O211	ツヤアオカメムシ卵の日齢および低温保存が卵寄生蜂ニホンタマゴクロバチの寄生に与える影響	○綱島 彩香 ¹ 、三浦 紅音 ¹ 、小沢 有輝 ¹ 、糸山 享 ¹	1.明治大院・農
O212	ジンガサハムシの成虫休眠における体重とその変化の特徴	○野間 健吾 ¹ 、西村 知良 ¹	1.日大・生物資源
10 生理学・生化学			
O213	昆虫における脂肪体の青色光プロテクターとしての機能	○高田 悠太 ¹ 、堀 雅敏 ¹	1.東北大学・農学研究科
O214	新規JH生合成制御因子の機能解析	○粥川 琢巳 ¹ 、長峯 啓佑 ¹ 、乾 智祥 ¹ 、小林 功 ¹ 、中尾 肇 ¹ 、松尾 隆	1.農研機構・生物研, 2.東大院・農学生命
O215	クサギカメムシにおける超早熟変態の分子メカニズムの解析	○乾 智洋 ¹ 、小瀧 豊美 ¹ 、粥川 琢巳 ¹	1.農研機構・生物機能
O216	トビイロウンカにおける発育時期特異的なクチクラタンパク質遺伝子の発現制御機構	○CHEA Soten ¹ 、三浦 健 ¹ 、○水口 智江可 ¹	1.名古屋大院・生命農
O217	オオスズメバチ代謝物質に含まれる新規生物活性物質の探索と機能解析	○権 来悟 ¹ 、萩原 佳輔 ¹ 、木村 将大 ¹ 、小山 文隆 ¹ 、廣瀬 琴美 ¹ 、加藤 学 ² 、景山 心悟 ² 、生田 智樹 ² 、松野 研司 ¹ 、大野 修 ¹	1.工学院大学・先進工学部, 2.(株)山田養蜂場
O218	キョウソヤドリコバチの母性休眠誘導を制御する幼若ホルモン	○向井 歩 ^{1,2} 、間野 玄雄 ² 、品田 哲郎 ² 、後藤 慎介 ²	1.摂南大・理工, 2.大阪市大・院理
O219	アワヨトウ幼虫における異物のクリアランスに関与する脂肪体の役割についてII	○澤 友美 ¹ 、秦 美咲 ² 、長嶋 志帆 ¹ 、田中 利治、中松 豊 ¹	1.皇學館大・教, 2.明倫小

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
11 分子生物学			
O220	フタホシオオロギの体色関連遺伝子のノックアウト系統作製および表現型解析	○井上 慎太郎 ¹ 、濱口 汰暉 ¹ 、石丸 善康 ¹ 、宮脇 克行 ¹ 、高橋 章 ¹ 、二川 健 ¹ 、三戸 太郎 ¹ 、渡邊 崇人	1.徳島大学
O221	ゲノム編集によるナミアゲハ味覚受容体遺伝子の機能解析	○宇賀神 篤 ¹ 、尾崎 克久 ¹	1.JT生命誌研究館
O222	RNA interference against serotonin receptors in <i>Tetranychus urticae</i>	○Faten Abdelsalam Hamdi ¹ 、Arai Y ¹ 、Takeda N ¹ 、Noureldin Abuefadi Ghazy ¹ 、Takeshi Suzuki ¹	1.BASE, TUAT
12 化学生態学			
O223	マメ科植物の糖酸化合物に対するキタキチョウの産卵反応	松永 千知 ¹ 、金澤 尚希 ¹ 、高塚 裕太 ² 、藤井 毅 ³ 、太田 伸二 ¹ 、○大村 尚 ¹	1.広島大学・院・統合生命, 2.広島大学・生物生産, 3.摂南大学・農
O224	クビアカツヤカミキリ成虫の寄主選択ににおい情報は関与するか	○安居 拓恵 ¹ 、上地 奈美 ¹	1.農研機構・植防研
O225	マツモトコナカイガラムシの近縁種のフェロモン	○田端 純 ¹ 、安居 拓恵 ¹	1.農研機構
O226	カイコガ上科のフェロモン腺中にみられる油滴とフェロモン量の関係	○藤井 毅 ¹ 、小玉 紗代 ¹ 、山本 雅信 ² 、櫻井 健志 ³ 、石川 幸男 ¹	1.摂南大学・農学部, 2.東京農工大学・BASE, 3.東京農業大学・農学部
O227	植物精油を用いたミバエ科昆虫嗅覚受容体のリガンド探索	○小野 肇 ¹	1.京都大学・農学研究科
O228	菌食者からの化学隠蔽か: 菌類は食害されると“キノコ臭”を減らす	○向井 裕美 ¹ 、所 雅彦 ¹ 、北島 博 ¹ 、楠本 倫久 ¹	1.森林総合研究所
O229	鱗翅目雌性フェロモンの進化: 系譜の「穴」を埋めていく	○中 秀司 ¹ 、服部 夏実 ¹ 、田淵 彰彦 ¹ 、松井 悠樹 ¹ 、藤井 毅 ² 、山本 雅信 ³ 、安藤 哲 ³	1.鳥取大学農学部, 2.摂南大学農学部, 3.東京農工大学BASE
O230	「ツツバキノメイガ」は種としての地位を持っているのか?	○松井 悠樹 ¹ 、中 秀司 ²	1.鳥取大学大学院連合農学研究科, 2.鳥取大学農学部
O231	ヤブツバキとユキツバキ: 鳥媒と虫媒の違いに影響する化学的特性	○森 信之介 ¹ 、長谷川 陽一 ² 、森口 喜成 ³	1.慶應義塾大・理工, 2.森林総研, 3.新潟大・自然研
O232	ゴマダラカミキリの寄主植物と成虫行動—多年生草本であるイタドリ利用の意味—	○深谷 緑 ¹ 、地崎 萌 ¹ 、山本 海渡 ¹ 、草木 昇 ¹ 、山中 康如 ¹ 、岩田 隆太郎 ¹	1.日本大学・生物資源科学部
O233	Deterrent effects of intact plant volatiles on host-searching behavior in the parasitoid wasp <i>Cotesia kariyai</i>	○Socheat Ross ¹ 、Shigeru Matsuyama ¹ 、Seiichi Furukawa ¹ 、Yooichi Kainoh ¹	1.Univ. of Tsukuba
13 毒物学・殺虫剤作用機構・抵抗性			
O234	殺虫剤抵抗性リスク評価表 評価方法とコナガの事例	○山本 敦司 ^{1,2} 、土井 誠 ^{1,3} 、農水省-薬剤抵抗性管理技術の開発コンソ2014-18 コナガチーム	1.農林害虫防除研究会, 2.日本曹達(株), 3.静岡農林研
O235	濃度-死亡率曲線から必要施用濃度を逆推定するにはBox-Cox変換が必須	○山村 光司 ¹	1.農研機構・農環研
14 寄主選択・栄養学・耐虫性			
O236	スギはオオタバコガの寄主植物と成り得るか? Can Japanese cedar be a host plant for the cotton bollworm?	○大林 隆司 ¹ 、加藤 綾奈 ¹ 、久保 田 将之 ¹ 、野村 昌史 ²	1.東京都農林総合研究センター, 2.千葉大学大学院
O237	クワ耐虫性タンパク質MLX56を利用した広範な害虫に強い作物の作出	○今野 浩太郎 ¹ 、村田 未果 ¹ 、和佐野 直也 ² 、望月 淳 ¹ 、光原 一朗	1.農研機構, 2.九大院農
O238	Ecological and transcriptomic insight into adaptation to novel host plants in <i>Tetranychus evansi</i>	○Noureldin Abuefadi Ghazy ¹ 、Naoki Takeda ¹ 、Takeshi Suzuki ¹	1.BASE, TUAT

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
15 発生予察・被害解析			
O301	土地利用を用いた害虫被害予測モデルの外挿可能性の検証	○田淵 研 ¹ 、高橋 明彦 ² 、上杉 龍士 ¹ 、奥寺 繁 ³ 、吉村 英翔 ¹	1.農研機構東北農研、2.農研機構中央農研北陸、3.北海道教育大
O302	ハナアザミウマによるレモン果皮障害の発生	○亀井 幹夫 ¹ 、星野 滋 ¹ 、柳本 裕子 ²	1.広島総研農技セ、2.広島県西部農業技術指導所
O303	衛星リモートセンシングを用いたマイマイガ個体群の動態解析	○森 夏美 ¹ 、山下 恵 ¹ 、Vyacheslav Martemyanov ² 、井上 直紀 ¹	1.農工大学・農学部、2.RAS
O304	フェロモンルアーの開封後日数と誘引能力の関係:非線形回帰による定量	○須藤 正彬 ¹ 、佐藤 安志 ¹ 、萬屋 宏 ¹	1.農研機構・植防研
O305	クビアカツヤカミキリ成虫の脱出開始日予測法の開発	○春山 直人 ¹ 、若樹 睦子 ¹ 、野沢 英之 ¹	1.栃木農試・病虫研
O306	土地利用データを用いた外来種分布予測モデル高精度化	○池上 真木彦 ¹ 、坂本 洋典 ¹	1.国立環境研究所
O307	黄色粘着トラップに誘殺したアザミウマ類の物体検出AI技術を用いた検出	○下村 文那 ¹ 、武藤 美樹 ¹ 、高山 智光 ² 、杉浦 綾 ² 、中石 一英 ³ 、下八川 裕司 ¹	1.高知県農業技術センター、2.農研機構農業情報研究センター、3.高知県環境農業推進課
O308	施設ミウガに発生するモトジロアザミウマの物体検出AIによる簡易検出法の開発	○武藤 美樹 ¹ 、下村 文那 ¹ 、高山 智光 ² 、杉浦 綾 ² 、中石 一英 ³ 、下八川 裕司 ¹	1.高知農技セ、2.農研機構農業情報研究セ、3.現 高知県環境農業推進課
O309	2020年のトビイロウンカ多発生要因と薬剤感受性動向	○真田 幸代 ¹	1.農研機構植物防疫研究部門
O310	日本におけるタバコナジラミ新規侵入系統MED Q2の内部共生系およびTYLCV媒介能	萩原 大樹 ^{1,2} 、土本 舞子 ³ 、土田 努 ⁴ 、○藤原 亜希子 ^{1,5}	1.群馬大学・食センター、2.群馬大院・理工学府、3.富山大院・理工、4.富山大学・学術研究部、5.理研・CSRS
O311	ヨトウ類飛来予測手法のプロトタイプの開発	○大塚 彰 ¹	1.農業・食品産業技術総合研究機構
O312	タイムラプスカメラを搭載したフェロモントラップによる害虫モニタリング装置の開発	○川北 哲史 ¹ 、佐藤 達也 ²	1.農研機構 西日本農業研究センター、2.農研機構 管理本部技術支援部 西日本技術支援センター
O313	Sr放射起源同位体比と流跡線解析によるツマジロクサヨトウの飛来解析	○日高 直哉 ¹ 、藤井 智久 ¹ 、秋月 岳 ¹ 、大塚 彰 ¹ 、申 基澈 ² 、陀安 一郎 ²	1.農研機構・植防研、2.地球研
16 病理学・微生物的防除			
O314	アスコウイルス感染虫体液は寄生蜂細胞をアポトーシスにより致死させる	川畑 美桜 ¹ 、渡邊 和代 ² 、井上 真紀 ¹ 、○仲井 まどか ¹	1.東京農工大学・農、2.農研機構・生物研
17 生物的防除			
O315	Supplementing <i>Nesidiocoris tenuis</i> with a factitious diet of <i>Artemia</i> cysts to control <i>Bemisia tabaci</i> on tomato plants; a field approach	○David Wari ^{1,2} 、Motonori Takagi ¹ 、Takeshi Saito ^{1,3} 、Toshiyuki Tezuka ⁴ 、Kubota Naoya ¹ 、Shinsuke Sato ¹ 、Takashi Ogawara ¹	1.Ibaraki Agri. Center IHRI、2.Okayama Univ, IPSR、3.Ibaraki Agriculture College、4.Agri-Soken Inc.
O316	タイリクヒメハナカメシにおいて、歩行活動量に対する人為選抜が採餌行動に及ぼす影響の解析	○世古 智一 ¹ 、三浦 一芸 ¹	1.国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
O317	日本国内に分布するアブラバチ類6種と主要二次寄生蜂類4種の寄生対応関係	○光永 貴之 ¹ 、長坂 幸吉 ¹	1.農研機構植防研
O318	植物種特異的PCRマーカーを用いたタイリクヒメハナカメシ腸内植物DNAの検出	○岩本 皐 ¹ 、日本 典秀 ¹	1.京大院農・生態情報
O319	ナシ園の土着天敵ニセラーゴカブリダニからのナミハダニとカンザワハダニDNAの蛍光プライマーを用いた検出	○村上 理都子 ¹ 、窪田 直也 ² 、有本 誠 ³ 、日本 典秀 ⁴ 、長坂 幸吉 ¹ 、櫻井 民人 ¹ 、光永 貴之 ¹	1.農業・食品産業技術総合研究機構、2.茨城県農業総合センター園芸研究所、3.横浜植物防疫所、4.京都大学
O320	夏栽培した秋ソバの天敵温存植物としての評価	伊藤 寛征 ¹ 、荒木 沙耶佳 ¹ 、和田 京佳 ¹ 、山岸 健三 ¹ 、○上船 雅義 ¹	1.名城大農昆虫

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
18 防除法 物理的・化学的・その他			
O321	イチゴのナミハダニに対するマシン油乳剤苗浸漬処理の有効性について	○石川 博司 ¹ 、松崎 聖史 ¹	1.愛知県農業総合試験場
O322	テンサイシストセンチュウに対する防除手段6種の効果比較	○北林 聡 ¹ 、岡田 浩晃 ²	1.長野県野菜花き試験場, 2.農研機構中日本農研
O323	ミナミキイロアザミウマを効率よく誘引する粘着トラップ	○土井 誠 ¹ 、長谷部 昇 ² 、吉崎 涼花 ¹ 、宮地 桃子 ³ 、芥藤 千温 ¹	1.静岡県農林技術研究所, 2.小林製袋産業株式会社, 3.静岡県中遠農林事務所
O324	振動によるトマトのオンシツコナジラミ寄生密度抑制と着果促進—防除効果と増収効果の検証—	○大江 高穂 ¹ 、関根 崇行 ¹ 、駒形 泰之 ¹ 、小野寺 隆一 ² 、阿部 翔太 ² 、高梨 琢磨 ³	1.宮城県農業・園芸総合研究所, 2.東北特殊鋼, 3.森林総研
O325	プロヒドロジャスモン液剤を異なる条件で処理したトマトでのアザミウマ類忌避効果	○大矢 武志 ¹ 、浜田 泰子 ¹ 、櫻井 民人 ² 、腰山 雅巳 ³ 、安部 洋 ⁴	1.神奈川農技セ, 2.農研機構, 3.日本ゼオン(株), 4.理研BRC
O326	トマトに対する <i>Beauveria bassiana</i> 水和剤のプロワー処理位置の検討	○杖田 浩二 ¹ 、伊藤 祐気 ¹	1.岐阜県農業技術センター
O327	なす科果菜類へのアザミウマ2種の定着に対するプロヒドロジャスモンの処理効果	○櫻井 民人 ¹ 、大矢 武志 ² 、村上 理都子 ¹ 、富高 保弘 ¹ 、大西 純 ⁴ 、安部 洋 ³	1.農研機構植物防疫研究部門, 2.神奈川県農業技術センター, 3.理化学研究所バイオリソース研究センター, 4.農研機構基盤技術研究本部
O328	ネギハモグリバエバイオタイプBの発育に及ぼす温度の影響	○徳丸 晋虫 ¹ 、中島 優介 ¹	1.京都農技センター
O329	京都府におけるネギハモグリバエバイオタイプBの幼虫に対する薬剤殺虫効果	○中島 優介 ¹ 、徳丸 晋虫 ¹	1.京都農技セ
O330	振動によるクビアカツヤカミキリの幼虫および羽化成虫への効果	○衣浦 晴生 ¹ 、高梨 琢磨 ¹ 、小野寺 隆一 ² 、田山 巖 ² 、金子 修治 ³ 、山本 優一 ³	1.森林総合研究所, 2.東北特殊鋼株式会社, 3.大阪府立環境農林水産総合研究所
O331	三重県におけるタバココナジラミバイオタイプQ成虫に対する主要殺虫剤の殺虫効果	○佐々木 彩乃 ¹ 、西野 実 ¹ 、田中 千晴 ¹	1.三重県農業研究所
O332	クリの蒸熱処理における処理果実量と処理時間の関係	○岩本 哲弥 ¹ 、溝部 信二 ¹	1.山口県農林総合技術センター
O333	封入揮発式フェロモンディスペンサーの交信かく乱有効範囲の推定	○永山 敦士 ¹ 、新垣 俊 ¹ 、兼島 盛吉 ¹ 、山田 義智 ¹ 、内藤 尚之 ² 、江城 章久 ³ 、田嶋 嘉治 ³	1.沖縄県農業研究センター, 2.信越化学工業株式会社, 3.明光化成株式会社
O334	キュウリ苗におけるミナミキイロアザミウマの密度抑制に有効なプロヒドロジャスモンの処理条件およびウイルス媒介抑制効果の検証	○安達 修平 ¹ 、富高 保弘 ¹ 、櫻井 民人 ¹	1.農研機構・植防研
O335	カンキツのゴマダラカミキリに対するメタフルミゾン(アクセル [®])の効果特性	内黒羽子 徹 ¹ 、児玉 洋 ¹ 、犬飼 佳代 ¹ 、○青木 隆夫 ¹ 、藤岡 伸祐 ¹	1.日本農業株式会社
O336	エコピタ液剤のタバココナジラミ(バイオタイプB)の定位、交尾、産卵行動に対する阻害効果	○河津 圭 ¹	1.協友アグリ株式会社
O337	殺虫剤シクラニプロールに関する研究(第9報)—果樹スモヒメシクイに対する防除効果—	○藤井 聡子 ¹ 、武田 千秋 ¹ 、森 光太郎 ¹ 、佐野 真喜子 ¹	1.石原産業株式会社
O338	飼料用トウモロコシにおける数種殺虫剤のアワノメイガ被害抑制効果	○石島 力 ¹ 、平江 雅宏 ²	1.農研機構・中日本農業研究センター, 2.農研機構・植物防疫研究部門
O339	森林害虫マイマイガの海上コンテナの色に対する産卵選択性	○松井 啓祐 ¹ 、澤島 拓夫 ¹ 、井上 真紀 ²	1.近畿大学大学院 農学研究科, 2.東京農工大学 農学研究科
O340	飼料用トウモロコシにおけるツマジロクサヨトウの発生時期とカルタップ水溶剤の防除効果	○樋口 聡志 ¹ 、吉永 英樹 ¹	1.熊本農研セ
O341	フroot由来の回収発泡ポリスチレンに関する昆虫の忌避/誘引挙動について	○大谷内 裕子 ¹ 、稲垣 靖史 ¹	1.ソニーグループ株式会社

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
18 防除法 物理的・化学的・その他			
O342	複数LED制御によるチャノコカクモンハマキの飛翔攪乱における波長の影響	○宮本 隆典 ¹ 、田端 純 ² 、戒能 洋一 ¹	1.筑波大学・生命環境, 2.農研機構
O343	振動による行動および成長の制御:キノコバエ類に対する阻害効果と害虫防除への応用	○高梨 琢磨 ¹ 、向井 裕美 ¹ 、小林 知里 ¹ 、小野寺 隆一 ² 、西野 浩史 ³	1.森林総合研究所, 2.東北特殊鋼(株), 3.北海道大
O344	ヒトスジシマカに対する青色光の殺虫効果-卵および蛹に対する殺虫効果-	○谷山 克也 ¹ 、堀 雅敏 ¹	1.東北大学院・農
O345	イエバエの波長選好性	○木村 悟朗 ¹	1.イカリ消毒株式会社
O346	コロナ禍の中での外来社会性昆虫防除システム構築と強化	○坂本 洋典 ¹ 、坂本 佳子 ¹ 、久本 峻平 ¹ 、神宮 周作 ² 、蒲地 智寛 ³ 、中嶋 信美 ¹ 、五箇 公一 ¹	1.国立環境研究所, 2.対馬市役所, 3.福岡市役所
19 害虫管理・IPM(施設)			
O347	複数作型が交互に栽培されトマト栽培が通年途切れない栽培体系におけるタバコカスミカメを主軸としたタバコナジラミの防除効果	○斉藤 千温 ¹ 、石原 由紀 ² 、土井 誠 ¹ 、吉崎 涼花 ¹	1.静岡県農林技術研究所, 2.(株)静岡アグリビジネス研究所
O348	ナス育苗期にスワルバンカーロング®を放飼することによる育苗期と本圃での害虫防除効果~徳島県現地圃場での検証~	○大朝 真喜子 ¹ 、森 光太郎 ¹ 、中野 昭雄 ²	1.石原産業株式会社中央研究所, 2.徳島県農林吉野川
O349	温室メロンにおける土着カブリダニによるミナミキイロアザミウマの防除効果	○吉崎 涼花 ¹ 、土井 誠 ¹ 、斉藤 千温 ¹	1.静岡県農林技術研究所
O350	定位阻害・交尾阻害効果が期待される数種気門封鎖剤のトマトのタバコナジラミに対する防除効果	○伊丹 春衣 ¹ 、上村 香菜子 ¹ 、清水 信孝 ¹	1.福岡県農林業総合試験場
O351	ベミデタッチ®(アセチル化グリセリド乳剤)と化学農薬の併用により植物ウイルス媒介抑制効果は向上する	○森戸 梓 ¹ 、加嶋 崇之 ¹ 、森 光太郎 ¹ 、佐野 真喜子 ¹ 、三谷 滋 ¹	1.石原産業株式会社
O352	ミヤコバンカー®利用によるイチゴ苗上でのミヤコカブリダニの定着性の向上	○東田 景太 ^{1,2} 、森 光太郎 ²	1.石原バイオサイエンス(株), 2.石原産業(株)
O353	福岡県の施設バラにおける天敵カブリダニ類連年放飼の効果	○上村 香菜子 ¹ 、伊丹 春衣 ¹	1.福岡県農林業総合試験場
O354	茨城県ピーマンにおけるヒラズハナアザミウマおよび抵抗性打破系統TSWVの発生状況について	○高木 素紀 ¹ 、原 涼子 ¹ 、山口 英克 ² 、安田 智昭 ² 、石井 亮二 ¹	1.茨城銚田普及センター, 2.茨城農総せ鹿島特産
20 害虫管理・IPM(畑作・果樹)			
O401	網室を用いたアセチル化グリセリドのチャノミドリヒメヨコバイに対する防除効果の検証	○萬屋 宏 ¹ 、佐藤 安志 ¹ 、須藤 正彬 ¹	1.農研機構 植物防疫研究部門 金谷茶業研究拠点
O402	17樹種の切り枝に対するクビアカツヤカミキリ雌成虫の産卵選好性	○上地 奈美 ¹ 、三代 浩二 ¹	1.農研機構・植防研
O403	二次植物を導入した春タマネギ圃場におけるヒラタアブ類の動態とネギアザミウマ抑制効果	○関根 崇行 ¹ 、大江 高穂 ¹ 、駒形 泰之 ¹ 、板橋 建 ¹ 、進藤 友恵 ¹	1.宮城県農業・園芸総合研究所
O404	ネギ栽培におけるネギハモグリバエB系統の効果的な粒剤処理時期と各種粒剤の効果の検討	○札 周平 ¹ 、佐藤 信輔 ² 、林 可奈子 ¹ 、小河原 孝司 ²	1.茨城坂東農改普及セ, 2.茨城農総七園研
O405	北日本におけるタマネギとオオムギの混植によるネギアザミウマ抑制効果の要因	○上杉 龍士 ¹ 、田淵 研 ¹ 、吉村 英翔 ¹ 、小西 令子 ¹ 、下田 武志 ¹	1.農研機構東北農研
O406	マンゴー施設内雑草ナガエコミカンソウの有無が、マンゴー上のチャノキイロアザミウマScirtothrips dorsalis密度と被害果率に与える影響	○秋田 愛子 ¹ 、守屋 伸生 ² 、上里 卓己 ³ 、山田 義智 ¹ 、安次富 厚 ¹	1.沖縄農研セ, 2.沖縄農研セ名護支, 3.沖縄防除セ
O407	森林におけるクリシギゾウムシの寄主利用と種子成熟に対する産卵の同調性	○檜垣 守男 ¹	1.農研機構・植防研
O408	異なる作物におけるネギアザミウマの発生消長と生殖型割合	○城塚 可奈子 ¹ 、金子 修治 ¹	1.(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所
O409	長野県内におけるアンダソニカブリダニの発生地域の推移及び生態的特徴	○簗島 萌子 ¹ 、金子 政夫 ²	1.長野県果樹試験場, 2.長野県農政部農業技術課
O410	ビワキジラミの発生生態と防除適期との関係	○田中 雅也 ¹ 、富原 工弥 ¹ 、八瀬 順也 ¹	1.兵庫県立農林水産技術総合センター
O411	九州中南部におけるツマジロクサヨトウの圃場個体群密度	○佐藤 嘉紀 ¹ 、新谷 喜紀 ² 、足達 太郎 ³	1.東京農業大学大学院, 2.南九州大学, 3.東京農業大学

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
21 害虫管理・IPM(水田)			
O412	山口県におけるイネカメムシの生態と防除2	○本田 善之 ¹	1.山口県V農林総合技術センター
O413	イネカメムシに時期別で加害されたイネにおける籾の被害実態	○田中 千晴 ¹ 、佐々木 彩乃 ¹ 、西野 実 ¹	1.三重県農業研究所
O414	イネカメムシ成幼虫の加害による登熟歩合低下と斑点米形成(ポット放飼試験)	○武田 藍 ¹ 、福田 寛 ²	1.千葉県農林総合研究センター、2.千葉県佐倉市
O415	イネカメムシの卵巣発育の臨界日長	○安江 園子 ¹ 、武田 藍 ¹ 、福田 寛 ²	1.千葉農林総研セ、2.千葉県佐倉市
O416	カスミカメムシ類が籾側部から加害可能な内外穎の開穎程度	○竹内 博昭 ¹	1.農研機構中日本農業研究センター
22 害虫管理・IPM(その他)			
O417	クビアカツヤカミキリ室内飼育における死亡率および蛹化法の検討	○浦野 忠久 ¹	1.(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所
23 自然・環境保護			
O418	新興感染症予防としてのマダニ緊急防除手法の開発	○五箇 公一 ¹ 、原田 恵理 ² 、松原 晶 ²	1.国立環境研究所、2.アース製薬株式会社
24 有用昆虫・昆虫機能利用			
O419	自然受粉のニホンナシ園で見られる訪花昆虫間の相互補完関係について	○園田 昌司 ¹ 、香川 清彦 ¹ 、古井 佑樹 ³ 、中田 健 ^{3,7} 、神山 光子 ² 、戸田 世嗣 ^{2,8} 、杉浦 直幸 ² 、中村 祥子 ⁴ 、末吉 昌宏 ⁴ 、三田 敏治 ⁵ 、外山 晶敏 ⁶	1.宇都宮大学・農学部、2.熊本県・果樹研、3.鳥取県・園芸試、4.森林総研、5.九州大学・農学部、6.NARO・植物防疫研究部門、7.鳥取県・農林水産部、8.熊本県・生環研
O420	味覚受容体の発現抑制による捕食天敵タバコカスミカメの食性制御	○上原 拓也 ¹ 、佐伯 かおる ¹ 、霜田 政美 ²	1.農研機構・生物研、2.東京大学
O421	島根県におけるカキの受粉に貢献する花粉媒介昆虫	○山本 隼佑 ¹ 、澤村 信生 ¹	1.島根県農業技術センター
O422	ウメの開花期の気象条件が着果率と収量に及ぼす影響を、ミツバチの訪花活動性の観点から考える	○前田 太郎 ¹ 、平岩 将良 ¹ 、下村 友季子 ² 、大江 孝明 ²	1.農研機構 農業環境研究部門、2.和歌山果樹試験場 うめ研究所
O423	食品残渣を用いた食用コオロギの循環型生産	○月岡 美紀 ¹ 、奥村 真志穂 ² 、河合 重和 ² 、松本 崇 ² 、井上 慎太郎 ³ 、三戸 太郎 ³ 、渡邊 崇人 ³	1.徳島大・院生物資源、2.株式会社ジェイテクト、3.徳島大・バイオイノベーション研究所
O424	ネムリユスリカ由来の培養細胞Pv11の常温乾燥保存技術とその改良について	○コルネット リンジャー ¹ 、菊田 真吾 ² 、渡邊 和代 ¹ 、布施 寛人 ¹ 、斉	1.農研機構、2.茨城大学
O425	機能的食品利用を目的としたコバネイナゴ(<i>Oxya yezoensis</i>)抽出物の基礎研究	○齋木 雅大 ¹ 、王 冬梅 ¹ 、韓 春光 ¹ 、永田 真紀 ¹ 、松本 雅子 ¹ 、清水 邦義 ¹	1.九州大学・生物資源環境科
O426	在来種クロマルハナバチによるキウイフルーツ授粉の試み(予報)	○光畑 雅宏 ¹	1.アリスタライフサイエンス株式会社

口頭発表(オンデマンド) 3月21日 9:00 ~ 3月22日 17:00

番号	演題	発表者	所属
25 線虫・ダニ・クモ・脊椎動物			
0427	ミカンハダニのピコルナ様ウイルスに対する寄主植物および紫外線の影響	○刑部 正博 ¹	1.京都大・院農
0428	広島県の水稲品種におけるイネシシガレセンチュウの増殖	○星野 滋 ¹ 、富樫 一巳 ²	1.広島県立総合技術研究所農業技術センター、2.東京大学農学生命科学研究科
0429	ミヤケアケハダニの発育と増殖に及ぼす温度の影響	○後藤 哲雄 ¹ 、小林 由里奈 ² 、Mohammad S. Ullah ³	1.流通経済大・経済、2.茨城大・農、3.Bangladesh Agri. Univ.
0430	テンサイシストセンチュウの高感度検出法の検討と今後の課題	○金子 政夫 ¹ 、北林 聡 ²	1.長野県農政部農業技術課、2.長野県野菜花き試験場
0431	カンザワハダニによるアリ足跡物質忌避反応の合理性	○小西 麻結 ¹ 、矢野 修一 ² 、秋野 順治 ¹	1.京工繊大院・応生、2.京大院農・生態情報
0432	テンサイシストセンチュウ発生圃場における捕獲作物候補品種の密度抑制効果	○与謝野 舜 ¹ 、酒井 啓充 ¹ 、北林 聡 ² 、岡田 浩明 ¹	1.農研機構植防研、2.長野県野菜花き試験場
0433	ニッケイトガリキジラムの虫こぶを利用するコウノアケハダニの生活様式	○伊藤 桂 ¹	1.高知大学・農林海洋科学部
0434	天敵ミヤコカブリダニの共生微生物叢:生物農薬の機能強化に向けて	○森 光太郎 ¹	1.石原産業(株)
0435	ミヤコカブリダニのゲノム全塩基配列解読:ゲノム情報を利用した天敵育種への展望	武田 直樹 ¹ 、Ghazy Noureldin Abuefadel ¹ 、鈴木 加奈 ² 、片岡 孝介 ³ 、由良 敬 ^{4,5} 、白藤(梅宮) 梨可 ⁶ 、森 光太郎 ⁷ 、刑部 正博 ⁸ 、○鈴木 文詞 ¹	1.農工大・BASE、2.農工大・農、3.早稲田大・総合研究機構、4.早稲田大・先進理工、5.お茶の水女子大・ライフサイエンス、6.帯広畜産大・原虫病研究センター、7.石原産業中央研究所、8.京大院・農
26 畜産・衛生・家屋害虫			
0436	サシバエとイエバエ(ハエ目:イエバエ科)の寄生蜂相	○松尾 和典 ¹ 、浅見 昂志 ² 、進藤 慎人 ² 、荒木 啓充 ³ 、小原 潤子 ⁴ 、塚原 均 ⁵ 、高橋 比呂 ⁶ 、永井 秀樹 ⁷ 、水木 剛 ⁸ 、吉村 和敏 ⁹ 、垣内 一明 ⁹ 、水口 一幸 ¹⁰ 、米田 秀一 ¹⁰ 、有留 拓也 ¹¹ 、斎野 孝博 ¹¹ 、具志 尚子 ¹² 、照屋 喬己 ¹² 、二宮 恵介 ¹³ 、阿部 芳久 ¹	1.九大院比文、2.九大共創、3.九大経、4.道総研畜試、5.栃木畜研、6.愛知農総試、7.兵庫県、8.岡山畜研、9.鹿児島県、10.鹿児島県酪、11.南さつま農協、12.沖縄畜研、13.沖縄県
0437	一養蜂場における3種類の蜂病ウイルスの分布	○北村 夕子 ^{1,2} 、浅井 鉄夫 ^{1,3}	1.岐阜大学院連獣、2.岐阜県中央家保、3.岐阜大学・応用生物科学部
27 その他			
0438	画像処理を利用した飛翔性微小害虫の自動識別計数アプリの開発	土屋 耕作 ¹ 、苜井 亮治 ² 、○中野 昭雄 ³ 、寺田 賢治 ¹	1.徳島大学大学院、2.徳島農総技セ、3.徳島東部農林